

---

## SATOU フォーラム再開

---

「しばらくは離れて暮す コ と ロ と ナ つぎ逢う時は君という字に

作：タナカ サダユキ」

東京も緊急事態宣言の月内解除が見込まれる状況かと思われま

す。勇躍、「SATOU フォーラム」を別紙のとおり開催いたします。

今年2月4日開催の北井先生の前回セミナーから既に3カ月近く経過し、その間、皆様をはじめ山田先生、山岸先生にも度々の開催延期等で、ご迷惑をお掛けしました。

感染の収束は見通せず、まだまだ油断はできませんが、皆様様と久しぶりの情報交換・交流ができることを楽しみにして、ソローリと参りましょう。お待ち申し上げます「君という字で」。

後世の史家が21世紀前半に起きた今回の世界的規模の大騒動をどう位置づけるのか。また、ポストコロナ禍で世界は未曾有の不安定化・大変革期に突入するとすれば、今後の日本はどうすべきか。

いや、それよりボクらの生活自体がそもそもどう変わってしまうのか。

ボク達はいま当事者として、後世記されるであろう「未来の歴史」の真ただ中にいる。

SATOU フォーラム  
佐藤 一雄

## 第八回 SATOU フォーラム

会場は前回と同じです。下記の地図参照

URL: <https://satou-forum.jp> (ホームページ: リニューアル)

フォーラムの講演そして交流会も併せて、出欠票に記載の上、ご返送ください。  
(FAX あるいは PDF にてメールで送付ください。)

### 記

日時: 2020年6月26日(金) 16:00~19:00 (受付開始は15:50より)

会場: サテライト新宿南口駅前 (アットビジネスセンター 901号室)  
渋谷区代々木2-8-3 新宿GSビル9階

- >15:50~16:00 受付
- >16:00~16:15 会員会社情報発信
- >16:15~18:00 [講演] (質疑応答時間あり)

**「平和不動産って兜町の大家さんだけど・・・、2020年2月兜町再開発・K5プロジェクト始動、旧第一国立銀行建物\*の面影を残しリノベ開発。金融ITを活かした投資運用の街づくりをめざす！」**

講師: 山田 和雄 先生 (平和不動産株式会社 常務取締役)

- >18:00~19:00 交流会 ビールと軽いつまみで名刺交換・情報交換タイム

### [今後のSATOUフォーラムの予定]

第九回 2020年7月14日(火) 住宅評論家・住宅新報顧問 本多 信博氏

演題未定 (コロナ禍関連情報 予定)

※本邦初の銀行。渋沢 栄一設立

1923年=大正12年関東大震災前竣工、築後97年

新宿駅南口徒歩1分

西新宿1丁目の交差点で甲州街道を横断



## 【山田 和雄先生 略歴】

昭和32年2月24日生

群馬県出身

学歴 昭和55年3月 学習院大学経済学部卒業

経歴 昭和55年4月 平和不動産株式会社に入社

平成16年12月 当社ビルディング事業部長

平成18年7月 当社ビルディング事業部長兼札幌支店長

平成19年4月 当社財務部長

平成21年6月 当社執行役員

平成22年6月 当社総務本部副本部長・企画財務グループリーダー

平成23年6月 当社取締役（現任）

当社常務執行役員（現任）

当社総務企画本部長

平成26年6月 当社不動産ソリューション部管掌

平成28年6月 当社開発企画部（開発）管掌

平成28年6月 ハウジングサービス（株）代表取締役社長

平成30年6月 当社開発推進部（開発）管掌（現任）

現在に至る

### <事務局>

プラチナ出版株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座1-13-1

ヒューリック銀座一丁目ビル7F

事務局：高橋・今井

Tel:03-3561-0200 Fax:03-3562-8821

E-mail:info@pulatinum-pub.co.jp

振込先：三菱UFJ銀行 虎ノ門中央店 普通 5384697

口座名義：佐藤 一雄

## 兜町は、金融ITを活かした投資運用の街づくりをめざす！

兜町といえば、ひときわ目立つ白い東京証券取引所の建物と道を挟んで、クラシックな小振りの建物が平和不動産の本社ビルである。住所は兜町1番10号だ。

「コンペニー」「コルポレーション」「バンク」その他多くの制度や銀行、紡績、海運などおびただしい事業を創業し、日本経済の礎を創った**渋沢 栄一**（1840年=天保11年～1931年=昭和6年 享年91）の別邸があった場所である。渋沢 栄一は「慶喜の幕臣」「明治新政府の大蔵官僚」「民間起業家」の三つの顔を持つ傑物だった。

関東大震災を受けた東京は洋風建築化へ一変するが、この建物もそのひとつで1928年=昭和3年竣工。現在築後92年、なんともいい味でてます。

現役バリバリの賃貸ビルなので、いつでも現地に足をお運びください。

建物設計は、横河 民輔（旧横河橋梁）、施工 清水組（現清水建設）と当時の最強コンビが担当。

さて、平和不動産の創立は1947年=昭和22年となる。占領軍の命令でこれまでの「東京株式取引所」を分割し、土地建物を保有賃貸するための「平和不動産」と株式を取扱う「東京証券取引所」に分離された。

平和不動産は爾来各地の取引所（大阪、名古屋、京都、神戸等）を保有賃貸している。開発事業等各種展開する中、ビル賃貸の中心を占める。

賃料が取引所の出来高に（結果的に平和不動産の株価にも）連動するユニークな仕組みは、1985年=昭和60年に廃止された。

兜町にもいま、“株式のネット取引の増加と手数料の減少”という時代の大波が押し寄せている。兜町ブランドも構造変化に対応すべき正念場を迎えた。平和不動産の開発責任者は、「金融ITを活かした投資運用の街づくり」を掲げる。

将に年金だけに頼れない多くの高齢者にとってだけでなく、これからの将来世代にとっても、これは切実な問題だ。もちろん、国民各々が資産運用のリテラシーをどう磨くかが厳しく問われよう。

国民の資産運用を各自の望む最適なものにすることは、いってみれば“おカネの働き方改革”だろう。令和の渋沢 栄一に成り代って創業すべき国民的課題ではないか。

（文責：佐藤）